

馬瀬里山ミュージアム

馬瀬里山ミュージアムは馬瀬（マゼと発音）川の岸に沿って 28 キロメートルにわたって広がる広大なエコツーリズム施設です。馬瀬村とそこに住む人々も含めて自然の景観そのものがミュージアムになっています。

鮎の式典

夏は馬瀬川のアユの季節です。漁師たちは「火ぶり漁」と呼ばれる伝統的な手法を使ってアユを捕獲します。この手法では、夜に川の全長にわたって網を投げ、松明と音を使って魚を網の中に追い込みます。この公開ショーは指定された日に開催され、馬瀬全域でアユを味わうことができます。炭火で塩焼きにすることが多いです。

豊かな農業

馬瀬村では米、朴葉、トマト、ブルーベリーなどの作物が生産されています。朴の葉は寿司を包んだり、味噌、野菜、時には肉を焼く「朴葉焼き」の器として使用されます。この地域のトマトは甘いことで有名です。ブルーベリーの季節になるとまぜ川上健康農園の茂みからブルーベリーを摘むことができます。

イベントとツアー

インフォメーションセンター「水辺の館」では、馬瀬里山ミュージアムに関する印刷物を配布しています。沢のぼり、釣りなどの自然ツアーは、国際チームが運営するアウトドアレクリエーション会社、マウンテンライフ飛騨を通じて手配できます。村では 1 年を通じて花火大会、かかしコンテスト、マラソン大会などのイベントを開催しています。

宿泊オプション

馬瀬川温泉 美輝の里から自然に囲まれた人里離れたキャンプ場まで、さまざまな宿泊施設を利用することができます。訪問客は伝統的な旅館、民宿、民泊で宿泊することもできます。

馬瀬は下呂温泉から車で約 30 分のところにあります。日本で最も美しい村の一つとも言われています。訪問者は馬瀬里山ミュージアムを自分のペースで探索したり、知識豊富な地元ガイドによるツアーを予約することもできます。